

# 名古屋木材株式会社

木材の可能性を広げる  
技術の開発に成功

日本が終戦を迎えた日からわずかに4か月後の1945年12月、名古屋木材株式会社は、社会の復興と木の文化の興隆に尽力すべく設立されました。当時も今も木材の販売という主たる事業内容は変わりませんが、近年では扱う木材の種類が膨大に増加。合板や建材、システムキッチンやユニットバスなど住宅機器の販売、ウッドデッキの施工、建築住宅の販売というように一般消費者へのアプローチにも積極的です。収益の柱を木材販売以外にも確保し、着実に成長を遂げてきました。「品目と売り先、事業の幅を広げてきたのは、単に多くの収益を上げることが狙いだったわけではありません。取引先や消費者の声にフレキシブルに応えたかったためです」と、取締役執行役員市場部長の恒川裕司さんは話します。

戦時中に木材統制会社の設立・運営に  
貢献した3人が、戦後、木材販売のために  
設立した名古屋木材株式会社。

近年は木材に新たな技術を加え、  
自社製品の製造・販売に乗り出しています。  
そこには「循環型社会の形成に貢献する」という  
確固たる目標が。木材のことを知り尽くした  
プロフェッショナル企業を訪問しました。



取締役執行役員 市場部長  
恒川裕司さん

「過去に大手企業からのお声かけにより、通信機器のボディーをつくる際に圧縮技術を採用していただきました。OEM製品でしたが、今後は自社製品をもっと展開したいです」

木材圧縮成形技術とは、木材を強い力で圧縮することでその密度を増加させ、プラスチックと同等以上の強度を持たせたり、反対にゴムのように柔軟性を持たせたりすることができる独自の加工方法。硬くする技術を「リグノテクス®」、柔らかくする技術を「リグノフレックス®」

## information



名古屋木材株式会社  
中川区山王2-6-41 ☎052-321-1526(本社代表)  
木材コンビニ エイゼン館  
中川区清船町4-1-1 ☎052-369-1231  
<http://www.meimoku.co.jp/>  
<http://www.pentaputter-woody.com/>  
<http://ligno.easy-myshop.jp/>



リグノフレックスを使用した靴べら。右利き、左利きのどちらでも利用できるユニバーサルデザイン。高級革ケースに入っています。販売はウェブサイトのみ

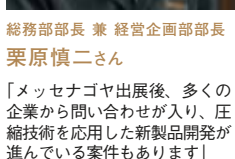


とネーミングしました。  
加工に化学薬品を一切使用していないにもかかわらず、強度の増加だけでなくツヤや木の香りなどもアップさせました。木の質感を保ったまま耐久性や加工性が高まるなど、付加価値の創造に成功しています。これまでプラスチックが主流だった製品分野に採用されることも夢ではなく、インテリアや家具はもちろん、愛知県のお家芸である自動車産業にも応用展開することができま

## 圧縮木材を使った ゴルフクラブなどが誕生

すでにリグノテクスを使った製品の製造に着手。「ペンタパター®・ウッドイ」は、ゴルフクラブのパターのヘッド部分を金属や強化プラスチックではなく、リグノテクスを用いてつくった五角形のヘッドに置き換えたもの。この形状にしたことで打球面がすべてスイートエリア(芯)として機能し、正確なパッティングを可能にしています。ゴルフ発祥の地、イギリスのセント・アンドルーズにあるゴルフショップでも販売され、実際に競技でも使えるというから驚きです。

リグノフレックスは、岐阜大学の



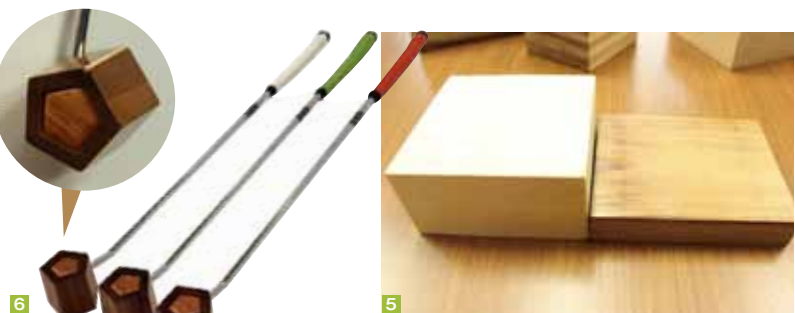
総務部長 兼 経営企画部長  
栗原慎二さん

「メッセナゴヤ出展後、多くの企業から問い合わせが入り、圧縮技術に応用した新製品開発が進んでいる案件もあります」

教授を務めた棚橋光彦氏(現在は退官)と共同で開発されました。この技術を生かした商品が靴べら。通常は平らな形状をしています。実際に使用すると、かかとのカーブに合わせて曲がるようになっており、スムーズに靴を履くことができます。今後の未来を担う学生との交流に積極的な名古屋木材。2014年4月、愛知淑徳大学の学生3人と名古屋木材の産学連携プロジェクトがスタート。コンセプトメーカーやターゲット設定を経て、学生たちからはたくさんのアイデアが提出されました。検討を重ねて商品化されたのがリグノフレックスの技術を生かした手帳のインデックスとしており、何度も試作を繰り返して、強度や厚み、デザインなどを納得いくまで突き詰めた。立ち上げから約半年後に完成しました。日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2014」で販売され、追加生産をするほど好評だったそうです。学生にとっては、学んだ知識を実践で生かすいい機会であり、名古屋木材にとっては、ほかにも事例があります。昨秋、名古屋大学の留学生在が参加する「日本のものづくり、愛知のものづくり」プロジェクトに参加。リグノフレックスを題材に新商品のアイデアが検討されました。後日、留学生たちを海部郡飛鳥村の事業所へ招待。圧縮装置や切削加工機などを披露し、木材加工への興味をかき立てました。

## 木材の活躍の場を これからも増やしたい

現在、循環型社会の形成に向けて、日本だけでなく世界規模でさまざまな施策や技術が創造されています。「名古屋木材も木材圧縮成形技術を使って、この社会をつくり上げるために尽力する考えです」と話すのは、総務部長兼経営企画部部長の栗原慎二さん。石油や鉄鉱石は有限資源ですが、木材は伐採後も植樹することで持続可能な資源として活用できます。石油および鉄製品の代替として木材が使われるようになれば、有限資源の枯渇に歯止めをかけることも夢ではありません。ペンタパター・ウッドイのように、鉄だけでなく実用できる製品をすでに作り出した名古屋木材。木材の活躍の場は長年木材を研究し、ひたむきな姿勢を貫いてきた企業の努力によって、今後ますます増えていくことでしょう。



5.圧縮前後の比較。およそ1/2のサイズにまで圧縮されます 6.古くから日本で親しまれているヒノキを使用。ウェブサイトと一部の百貨店、特約店にて販売中



エンドユーザーには木に囲まれた快適な暮らしを提唱

1.メッセナゴヤには愛知淑徳大学の学生も名古屋木材のブースに立ち、産学連携で開発した商品のPRをしました 2.日本企業にインターン希望の留学生を積極的に受け入れ。皆日本の住宅事業や工法、材料について興味津々です 3.材質が木材でありながらしなやかに曲がるので、本や手帳にはさんでもインデックスとしおりはしっかり機能します 4.名古屋大学「日本のものづくり、愛知のものづくり」プロジェクトでは、グループディスカッション、現場見学、プレゼンテーションなどが開かれ、名大の留学生約50人が参加し、大いに盛り上がりを見せました



エイゼン館は木材関連のスペシャリストが開いた店であるため、質のいい材料が納得の価格で手に入り、木材に関する相談にも乗ってくれます